

平成 27 年度活動報告 -平成 28 年 04 月 22 日(金)-

庶務担当 齊藤雅一

1. 総会関係

平成 27 年度総会を平成 27 年 04 月 24 日(金)、栄研化学株式会社 7 階、第 3 第 4 会議室にて 17:30~18:30 の時間帯で開催した。来賓として日臨技会長の宮島喜文様、私立医大技師長会会長の上道文昭様にご挨拶をお願いした。議長は東京女子医科大学病院の三浦ひとみ技師長をお願いした。議事は滞りなく進行し、全ての議案は承認された。参加人数は 21 名であった。

2. 研修会関係

(1)学術講演会を平成 27 年 04 月 24 日(金) 総会終了後に 18:30~19:30 の時間帯で開催した。「これからの細菌検査室の展望とご提案」と題して栄研化学株式会社の光岡聰 氏に講演をお願いした。細菌検査室の今後の方向性を導いて下さる内容で、興味深いものであった。参加人数は 23 名であった。

(2)第 33 回学術研修会を平成 27 年 10 月 24 日(土)、愛知県産業労働センター ウィンクあいちにて 10:00~17:00 の時間帯で開催した。メインテーマは『私立医科大学病院発！「診療に貢献できる検査技師を目指して」-検査データから発信できること-』で、午前には各大学病院の検査技師による 8 題の一般演題発表を実施した。

ランチョンセミナーは 11:45~13:15 の時間帯でシスメックス株式会社、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社、栄研化学株式会社の 3 社をお願いした。

午後のシンポジウムは 13:30~15:30 の時間帯で「診療に貢献できる検査技師を目指して -検査データから発信できること- 」と題して 4 名のシンポジストに①生理機能検査について、②免疫・化学検査について、③輸血検査について、④微生物検査について、をお願いした。各検査部門における検査データに対し診療側へ提言している活動内容で、参考になるものばかりであった。

次に、15:45~16:45 の時間帯で聖隷浜松病院臨床検査科部長である米川 修先生に「検査室からの解析面での貢献 -当院での後方臨床支援システムの紹介を兼ねて-」と題して特別講演をお願いした。本システムによりデータの見落とし防止や早期対応が可能となり、患者に最大限の貢献となっているという内容で、興味深いものであった。参加人数は 96 名であった。

(3)若手技師を対象とした、生化学検査の基礎的な内容についての研修会を 4 回(6 月、9 月、11 月、3 月) 開催した。また、学術研修会の前日に愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班との共催により若手技師を対象とした臨床化学検査の講演会を実施した。参加人数は 95 名であった。

3. 会誌『KAMERADEN』の発行

『KAMERADEN』は 61 号(第 33 回学術研修会抄録集との合併号)を平成 27 年 10 月に、61 号を平成 28 年 03 月に発行した。

4. 会議関係

会議は理事会を 9 回、編集委員会を 2 回開催した。なお、詳細はカメラデン掲載の議事録を参照して下さい。

5. その他

経費節約としてカメラデン61号と学術研修会抄録集を合併号とした。また、会員の意見を取り入れて技師会の向上を図るため、ホームページを作成し、活動内容を表示した。更に、学術研修会の一般演題発表において優秀演題賞を設けるとともに、ランチョ
ンセミナーを実施し、多くの検査技師が参加出来るよう工夫した。